



2015・6・1

第 205 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

戦争法案廃案へ、世論のうねり草の根から

事務局訴えの具体化、こんな形で

【神奈川県・相模原9条の会連絡会】 5月1日の九条の会事務局からの「訴えと提案」をうけ、その具体化をはかる動きが広がっています。5月31日ひらかれた「第2回『戦争いやだ、9条まもれ!』5.31 相模原市民のつどい」(実行委員会主催)では、次のような「呼びかけ」が採択されました。

1、当面6月14日の戦争法案反対全国集会はじめ、国会前集会、抗議行動に声を掛け合い、積極的に参加しよう。

2、一人でもできる抗議と要請・激励のはがき、FAXを送るなどの行動に取り組もう。

3、署名(「戦争いやだ連絡会、その他各団体で使用しているものなど)を周囲に呼びかけ、みんなで持ち寄り、国会請願に託そう。

4、駅頭宣伝、署名活動を連続的にできるようにしよう。

5、小集会、小学習会など、身近で手軽にできる数人規模の行動を無数に開き、共同のネットワークを地域に広げよう。

草の根の取り組みの経験をお寄せください

戦争法案反対の「山場月間」がはじまり、各地で創意ある草の根の取り組みが豊かに展開されています。

お互いに学びあい、刺激しあって大きな世論を盛りあげ、戦争法案を何としても廃案に追い込んでいくために、各地での経験をぜひお寄せください。

「九条の会ニュース」編集部

6、各団体が工夫し、地域配布のチラシを作り、可能な範囲で配布活動に取り組もう。

向こう三軒両隣りが協力し

【神奈川県・根岸線沿線九条の会】 「九条の会」の情勢討論に、根岸線沿線九条の会連絡会も敏感に反応しています。

根岸線とは、横浜桜木町から大船までの間をいいますが、連絡会を結成したのも「九条の会」からのく向こう三軒両隣り。あら

ためて身近なところから地道なとりくみへの提起に応えたものでした。

アベの「暴走」を阻止しようと、5月共同行動を決め、3日は横浜・臨港パークに結集。10日は新杉田駅前、16日は雨模様で中止しましたが23日は港南台駅前。とどめの30日は大船中通り商店街入口で「九条の会」の請願署名付きのチラシ配布とリレートーク。

参加者は毎回20名を超えています。参加者の多さはチラシを受けとる側にも影響があるようです。「日米新ガイドライン」以来、市民のみなさんは「危機感」を抱きはじめたようです。話しかけてくる人、署名してくれる人が、以前に増して多くなっているのが特徴です。(仲築間卓蔵)

ビラも署名も2倍に…

【兵庫県・宝塚九条の会】 うちの宝塚九条の会は、10年前の結成時直後から、毎月19日夕方に市内の駅頭で「アピール」署名を続けています。(阪急電車の6駅を順繰りにまわり、同じ所が年に2回となる)

わが市は電車各駅もちろんしており、宣伝人員は5～10名くらいで、時々に変えるビラは1回に50～150枚ほどを配布し、毎回1時間の署名数は10～20筆くらいのものでした。

しかし、今年5月19日は様変わり。計8名で1時間のうちにビラ200枚以上を配りきり、署名数は40筆以上。平均の2倍です。署名しにわざわざ寄ってくる人や、ビラをもらえなかったと抗議しに来る人までいました。

今までと雰囲気が違うようです。当日の

当番が言うには、「もっと人数がいたら、ビラも署名ももっと出たのに～」。おそらくこの5月連休明け以降に街頭宣伝した会は、全国で同じような様子だったのではないかと思います。(岩井)

2隊に別れ地域内を憲法ウォーク

【京都府宇治市】 憲法九条を守る木幡・六地蔵の会では、憲法の危機、戦争立法に対して地域から反対の声をはっきりと示していこうと、「5・24戦争反対・憲法九条を守れ木幡・六地蔵ウォーク」を企画・実行しました。1隊はJR木幡駅から、もう1隊は御蔵山児童公園から、住宅地の中を細かく回りながらJR六地蔵駅までデモ行進(憲法ウォーク)をしました。

出発後、途中から次々と参加者が増え、木幡コースが67人、御蔵山コースは32人、合計99人になりました。それぞれ、のぼり、横断幕、プラカード、うちわなど思い思いの宣伝物でアピールしながら歩きました。木幡地域でこれほどの規模でデモが行われるのは初めて。家から出てきて励ましてくれる方や、立ち止まってプラカードの文字を読む人など、多くの関心をよびました。

参加者は、「安倍さんはひどい、ガツンとやりたかった」「なにかできることをしたいと思っていた」「地域から声を上げたかった」「たくさん来てくれてよかった」などと語り、戦争立法ストップにいつそう頑張る決意を固めあいました。(山崎恭一)

憲法九条を守り、「戦争法案」に反対する緊急アピール

東北六県市町村長九条の会連合

日本全国民の皆さん、都道府県知事・市区町村長の現職の皆さん、元職の皆さん

私たちは、政党政派にとらわれず、人類の宝・平和憲法九条を守り活かすために、「九条を守り活かす心は一つ」、「一人の百歩より百人の一步」を合言葉に、昨年5月「東北六縣市町村長九条の会連合」を結成しました。

時あたかもその前日2014年5月15日に、安倍晋三首相は集団的自衛権の行使容認に向けて記者会見し、その一步を踏み出しました。よって、私たちはこれに抗議し、これを断固阻止するためにアピールを発し、この1年間運動を熱烈に展開してまいりました。

そもそも私たちは、地方自治の確立こそ21世紀の国づくりの要であると信じ、市町村民のいのちとくらしを守ることを究極の使命とし、これを脅かすものに身命を賭して立ち向かってまいりました。

市町村民のいのちとくらしを脅かす最大のものは、戦争です。市町村民が戦火に巻き込まれ、戦争に駆り立てられることがないように、集団的自衛権の行使容認を撤回させ、憲法九条を守り活かさなければなりません。

にもかかわらず、安倍晋三首相はこの1年間、閣議決定、与党協議、日米ガイドライン協議、日米首脳会談、米国議会での演説などに見られるとおり、憲法九条に背き世論に耳を閉ざし、あたかも高速道路を逆走するように、ひたすら集団的自衛権の行使容認に向けて止まるところがありません。

あまつさえ「戦争法案」の閣議決定、国会への提出に至っては、市町村民ひいては

日本国民を戦後最大の危機に陥れ、解釈改憲によって平和憲法を有名無実化するものです。

私たち「東北六縣市町村長九条の会連合」は第2回総会を開催し、この危機に真正面から立ち向かい、全国7000を超える「九条の会」と手を携え、「戦争法案」を廃案にし、他国の戦争に日本が巻き込まれようとする動きを完全に止める決意であります、

憲法九条の理念を高く掲げ、この危機を緊急に乗り切ることが私たちに課せられた歴史的使命であると肝に銘じ、この運動に日本全国民の皆さん、都道府県知事・市区町村長の現職の皆さん、元職の皆さんが幅広く参加されることを心から訴えます。

2015年5月22日 山形市にて

(総会出席者)

青森県・市町村長九条の会…木下千代治(元大畑町長)

地方政治に憲法の理念を活かす岩手県市町村長の会…遠藤治夫(元葛巻町長)、内館勝則(元川井村長)

憲法九条を守る秋田県市町村長の会…千田謙蔵(元横手市長)、鈴木俊夫(元湯沢市長)

憲法九条を守る首長の会…川井貞一(元白石市長)、鹿野文永(元鹿島台町長)、森久一(元山元町長)、狩野猛夫(元松山町長)、松村行衛(元七ヶ宿町長)、佐藤洋治(元村田町長)

福島県市町村長九条の会…伊藤寛(元三春町長)、佐藤力(元国見町長)

山形県首長九条の会…安部三十郎(米沢市長)、渡部章(元高島町長)